



東アジアにおける文化交渉と地域振興

地域連携センター（庄原）

准教授 上水流 久彦（かみづる ひさひこ）

連絡先 県立広島大学 庄原キャンパス 3305号室
Tel & Fax 0824-74-1704（直通） 0824-74-100（代表番号）
E-mail kamizuru@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： 文化人類学 東アジア社会論 地域社会論 観光文化論

キーワード： 東アジア 台湾 歴史認識 多文化共生 観光開発 異文化理解 地域ブランド

現地の社会に与えたか、東アジアの歴史認識は各国でどう違うか、日本で働く外国人労働者は日本社会においてにおいてどのような位置づけを占めているか、等を考えています。

● 現在の研究について

東アジアは地理的近接性から様々な接触を行ってきました。それは東アジアにおける相互理解、文化の変容にどのような影響を与えてきているのでしょうか。また東アジアの多様な交渉は日本の地域社会にどのような影響を与えているのでしょうか。これらが私の基本的な研究テーマです。



具体的には？

- ① 日本の植民地支配は台湾にどのような影響を与えたのか。その逆は？歴史認識は？
- ② 外国籍市民が多く日本に住んでいます。東アジア、東南アジア出身者も多いです。相互の理解に如何なる影響を与えているのでしょうか。
- ③ 経済力のある台湾、中国、韓国の人々は、日本の観光にどのような影響を与えているか。



そのために

二十数年前から台湾を毎年訪れ、近年は韓国、中国、パラオを、国内では広島県（県北部、島嶼部）、八重山（沖縄県）、対馬（長崎県）で現地での調査を行っています。具体的な事例研究として、例えば、日本や広島は台湾、中国、韓国、パラオなどでどのように理解されているか、対馬や八重山における台湾人、韓国人観光客はどのようなインパクトを

● 今後進めていきたい研究について

1. 東アジアにおいて「日本」のイメージがどのように作られ、理解されているか。東アジア各国の歴史認識の差異はどこから生まれたか。
2. 国境を越えて移動する人やモノがそれぞれの文化にどのような影響を与えているか。
3. 地域を観光で活性化するための地域ブランド化には何が必要なのか。
4. 東アジアとの経済的文化的結びつきを地域活性化にどう活用するか。
5. 対馬や石垣、与那国など国境近くの地域では国防、貿易、交流においてどのような現象が生じているか。
6. 外国人と日本人との地域での共生をどう考えるか。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

1. 増える外国籍市民にどう接するか。
2. 台湾との交流をどう進めるか。
3. 地域資源をどう観光資源にするか。
4. 東アジアの摩擦をどう考えるか。

● これまでの連携実績

1. 安芸高田市の多文化共生
2. 瀬戸内海の地域ブランド化
3. 鉄道を活用した観光開発
4. 東アジアの相互理解講座
5. 多文化共生・異文化理解講座
6. 台湾の高校との姉妹提携など